

第71回 長崎県高等学校総合体育大会

「いざ行かん 新たな時代の頂点へ」

「第71回 長崎県高等学校総合体育大会」の総合開会式が、5月31日（金）、トランスコスモスタジアム長崎（諫早市）で開催されました。県内各地から1万1千名を超える高校生が集い、全国大会や九州大会の切符をかけた熱い戦いが繰り広げられる本大会は、名実ともに本県の高校スポーツ最高の舞台です。

総合開会式では、前を真っ直ぐに見据え、力強く堂々と行進する高校生の姿に、スタンドに詰めかけた多くの方々が胸を熱くしました。その一体感のある入場行進からは、各学校の誇りとこの大会にかける熱い思いが伝わってきました。

本大会は、これまでも多くの先輩たちが数々の熱い戦いと感動のドラマを繰り広げてきましたが、「いざ行かん 新たな時代の頂点へ」をスローガンに掲げた今年の大会は、令和の新たな時代の幕開けとして、記憶に残る素晴らしい大会になることでしょう。

入場行進



優勝旗返還



鎮西学院高等学校
女子卓球部
北村 美憲 さん

歓迎のことば



県立西陵高等学校
久松 佳蓮 さん

選手代表宣誓



県立大村工業高等学校
ソフトボール部
山田 聖 さん

教育長激励のことば



今、スポーツを志す本県の高校生にとって、最高の舞台が整いました。それぞれの競技にかける熱い思いを、これまで積み重ねてきた力を信じ、高校生らしい、若さ溢れる、はつらつとしたプレーで、全身全霊をかけて競い合ってください。その姿が、多くの方々に感動を与えます。

これまで先輩方が繰り広げてきた熱戦に負けない、感動あふれる大会として、令和の新たな歴史に刻まれることを期待します。

また、本大会は、出場する選手と、運営を支える多くの補助員の皆さん、そして応援する皆さんが心をつなげてこそ、成功します。大会に参加する全ての高校生が、自らの役割に誇りを持って取り組み、各会場がさわやかな拍手で包まれることを期待します。そして、選手も、補助員も、応援者も、互いに敬意と感謝の心で結び合う友情をはぐんでください。

結びに、日頃から熱心に御指導をいただいている監督、コーチ、学校関係者の皆様や、運営に御尽力いただいている大会役員の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、本大会が県内全ての高校生の若さと感動に満ちた青春の祭典となることを期待し、激励のことばといたします。(一部抜粋)

令和最初の大会にふさわしい感動的な開会式でした。「いざ行かん 新たな時代の頂点へ」の大会スローガンのもと、新たな時代を駆け抜けようとする、高校生の皆さんの限りない飛躍を感じさせる力強い姿でありました。今大会が、競技力のさらなる向上を目指し、高校生の若さと感動に満ちた青春の祭典として、かけがえない瞬間になることを期待いたします。

令和元年 5月31日
長崎県教育委員会教育長 池松 誠二